



ピュアフラワー新聞

2015年5月号

— Pure Flower News —

Vol.13

＊カーネーションだけじゃない、母の日に贈りたい花

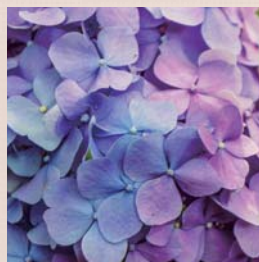
もうすぐ母の日ですね。母の日といえばやはり定番はカーネーションですが、最近ではカーネーション以外の花を贈る人もだんだん増えてきています。

今回は、母の日に人気がある花をいくつかご紹介します。



バラ・ミニバラ

花言葉は、赤「灼熱の恋」ピンク「上品・気品」白「心からの尊敬」など。
情熱的なイメージがあるバラですが、敬愛を示す意味もあります。



アジサイ

花言葉は「辛抱強さ」「元気な女性」など。
この季節から楽しめる代表的な花で、近頃母の日ギフトとしての人気も高まっています。



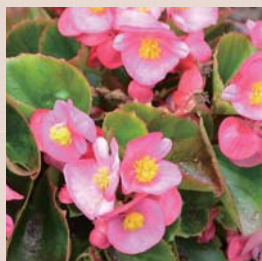
ユリ

花言葉は「純潔」「威厳」「無垢」など。
良い香りが楽しめる洗練されたユリは贈り物にも人気です。



クレマチス

花言葉は「精神的な美しさ」「心の美」など。
優美な雰囲気が贈り物にぴったり。育てるのも簡単です。



ベゴニア

花言葉は「幸福な日々」「親切」など。
初心者でも育てやすく、長く楽しめるのが魅力です。



ガーベラ

花言葉は、ピンク「熱愛」、オレンジ「冒険心」、白「希望」など。
いろいろな色や品種があるので、好みに合わせて選ぶのも楽しいですね♪

＊母と子のエピソード 手描きのアルバム

うちは貧乏な母子家庭で、僕が生まれた時はカメラなんて無かった。だから写真の代わりに母さんが色鉛筆で僕の絵を描いて、アルバムにしていた。絵は上手じゃないけど、どうにかして形に残したかったらしい。絵の隣に「キゲンが悪いのかな??」とか「すやすや眠ってます?」ってコメント付きで、ほぼ毎日、赤ん坊の僕を一生懸命描いていた。

小学四年生の時、家に遊びに来た友達数人に、そのアルバムを発見された。めちゃくちゃ笑われて、貧乏を馬鹿にされた。

友達が帰ってすぐ、僕はアルバム三冊をバラバラに破いてゴミ箱に捨てた。パートから帰って来た母さんはそれを見つけて、泣きだした。破いた理由を言っても、変わらず泣き続けた。

翌朝起きると、居間で母さんがゴミ箱から絵の破片を集めてセロハンテープで止めていた。

「恥ずかしい思いさせてごめんね。でもね、これ、母さんの宝物なんよ」
申し訳なさそうに優しくそう言われると、涙が溢れ、僕はごめんなさいと謝った。

＊今月のワンポイントレッスン

今回はフローラルフォームの使い方について。

- (1)まず深さのある器にきれいな水を十分に入れて、フローラルフォームを浮かべます。
- (2)自然に吸水させ、本体が沈むのを待ちます。この時、無理に抑えつけて沈めたりしないようにしましょう。
- (3)水面に上面がちょうど沈んだ程度が給水の目安です。(水の中や、底に沈まなくてもOK)



水面に浮かべて自然に沈むのを待ちます。

写真のように全体が沈みきったら吸水終了です。